



双塔

カトリック新潟教会

2020年6月
No. 385

神のいつくしみ

教皇ヨハネ・パウロ2世回勅「いつくしみ深い神」より

旧約聖書の「ラハミム」

旧約でいつくしみを言い表すもう一つの言葉は「ラハミム」(rahamim)である。これはヘセドとは少しだけ微妙に違った意味をもっている。ヘセドが自己への忠実、自分の愛に対する責任を特に言い表し(言ってみれば男性的な特徴を帯びているが)、ラハミムは語根からして母の愛を言う(レヘム(rehem)は母胎と等しい)。母を子に結ぶ深く独自のきずな、一致から、特別の間柄が、特別の愛が生まれる。この愛については、まったく報酬を期待しない愛、受けるためにそれなりの功德、働きがあったわけでないと言することができる。内的必要、心の要求のようなものであるとも言える。男性的な自己への忠実をヘセドと表したのに対応するあたかも「女性的」な違いのようなものである。このような心理的背景をもち、ラハミムはいろいろな心情を生じる。よさ、やさしさ、忍耐、理解、つまり、ゆるす用意のようなものである。旧約では「主」についてラハミムの言葉を用いるとき、ちょうど、前に述べたようなものが「主」にあるとする。「女が自分の乳飲み子を忘れようか。自分の胎の子をあわれまないだろうか。たとえ女が忘れても、このわたしはあなたを忘れない」(イザヤ 49:15)。この愛、母親の不思議な力から出るような忠実かつ不屈の愛のことが、旧約でいろいろに言い表されている。危険から、とくに敵からの救い、罪のゆるし、これも個人だけでなく、全イスラエルのゆるし、そして人間の不忠実にもかかわらず、約束と(終末的)希望を果たそうとはやる心、「わたしは彼らの背信をいやし、喜んで彼らを愛する」(ホセア 14:5)とあるとおりである。



そよかぜ便り



5月12日(火)、昨年帰天されたミカエル山頭泰種神父様、ペトロ川崎久雄神父様、アシジのフランシスコ鎌田耕一郎神父様、ロベルト三崎良次神父様の追悼ミサと納骨式が教区管理者代理(教区事務局長)大瀧神父様の司式で執り行われました。

5月17日(日)、大司教様のメッセージを元に新潟教会に数人集まった信徒の皆様とラウル神父様司式でミサが非公開で行われました。





インフォメーション!

●教会活動再開のお知らせ

5月15日付で菊地大司教様から「教会活動再開に向けて」の通達が出されました。それを踏まえ、新潟教会では5月24日から当面の間、信徒を2グループに分け、主日のミサを2部制にすることで再開いたします。

ミサの時間	①グループ 9:30～ ②グループ 11:00～	}	※①②のどちらのグループに該当するか信徒の皆さんには郵送で送付しましたのでご確認ください。
--------------	-----------------------------	---	---

なお、朝ミサは従来通り7:00～ですが、夕ミサは中止します。

- ・互いに1.5mの距離を保つために座席を固定し、印のついている座席に着席ください。
- ・マスクを着用し、聖歌は全員で歌いません。
- ・事前に検温し、37.5℃以上の方はミサへの参加はご遠慮ください。

信徒の皆さんにはご不便をおかけしますが、お互いのいのちを守るために必要な行動です。ご理解とご協力をお願いいたします。

2020年6月の予定

日	主日、祭日、祝日、祈願日等	教会の行事
7日(日)	三位一体の主日(祭日)	※すべての予定は新型コロナウイルス対応により未定となっています。
14日(日)	キリストの聖体(祭日)	
19日(金)	イエスのみ心(祭日)	
21日(日)	年間第12主日	
24日(水)	洗礼者聖ヨハネの誕生(祭日)	

※「教会の行事」が変更される場合は、日曜日毎に発行の「お知らせ」などでお伝えします。

※ ミサ時間：主日日曜日(7:00 9:30 18:00) 英語ミサ(第1日曜日 12:00)
週日(7:00、金曜日のみ10:00)

■カトリック新潟教会のホームページをご活用ください

カトリック新潟教会のホームページができました。

教会の内部の画像やステンドグラスの紹介、過去の双塔の一部をご覧になれます。美しい画像の数々が掲載されています。

また、教会のお知らせも随時掲載していく予定です。教会になかなか足を運べない今、ぜひご活用ください。

アドレス <http://nc.catholic-niigata.net/>

